

このたびは、シチズンウォッチをお買い上げいただきましてありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保管し必要に応じてご覧ください。

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



**注意**

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

## 目次

1. 商品の特徴	4
2. 光をあてて充電しましょう	5
3. モード(表示機能)の切り替え方	7
4. 時刻、カレンダーの合わせ方	8
・時刻の合わせ方	
・カレンダーの合わせ方	
・日付の位置がずれている場合	
5. クロノグラフの使い方	15
6. ローカルタイムの合わせ方	18
7. アラームの使い方	21
8. ソーラーパワーウォッチ特有の機能について	24
・充電警告機能	
・時刻合わせ告知機能	
・過充電防止機能	
・パワーセーブ機能	

9. 各針の基準位置確認と修正	30
・基準位置確認	
・基準位置修正	
10. オールリセットについて	34
11. エコドライブ ご使用上の注意	36
12. お取り扱いにあたって	37
13. 保証とアフターサービスについて	46
14. 製品仕様	48
15. お問い合わせ窓口	50

## 1. 商品の特徴

- ・この時計は文字板面にソーラーセルを配し、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させる**ソーラーパワーウォッチ**です。
- ・日付が自動的に切り替わる**パーペチュアルカレンダー**（うるう年を含む2100年2月28日までの年、月、日が自動的に切り替わります）や、24時間制でセットできる**デイリーアラーム**、1/20秒単位で59分59秒95まで計測できる**クロノグラフ**などの機能を搭載しています。

## 2. 光をあてて充電しましょう

### ☆日頃から文字板に光をあてましょう

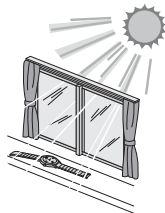
この時計には電気エネルギーを蓄えるために二次電池が使われています。この二次電池は水銀などの有害物質が一切使われていないクリーンエネルギー電池です。一度フル充電すると約9カ月間（パワーセーブ機能作動時）は充電しなくても時計は動き続けます。

### ☆充電時間の目安

通常運針時は屋外なら1日10分間、屋内の照明なら1日3時間程度で、時計の1日分の動きに必要な充電ができます。

充電不足による止まりを防ぐために、月に一度、お天気の良い日に、5～6時間充電することをおすすめします。

常に光のあたるところに置きましょう。



### ☆この時計の上手な使い方

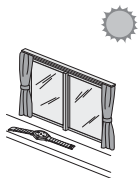
この時計を快適にご使用いただくためには、常に明るい場所での保管を心がけてください。

◆時計を外したときも、時計の文字板に太陽光が当たる、窓際等の明るい場所に置くように心がけると、常に充電を続け、快適にご使用いただけます。

◆日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。  
月に一度は直射日光を当てて、充電されることをおすすめします。

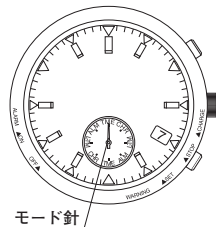
#### 【充電上の注意】

- ・車のダッシュボードでの充電や、高温下(約60℃以上)での充電はおやめください。
- ・白熱灯やハロゲンランプなど、高温になりやすい光源での充電はおやめください。

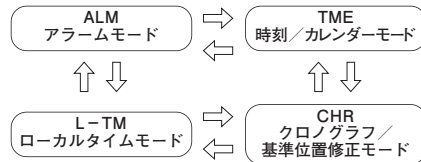


## 3. モード(表示機能)の切り替え方

この時計は、時刻/カレンダー、クロノグラフ、ローカルタイムおよびアラームの4つのモードを持っています。リゅうずを回転させるとモードが切り替わりますので、モード針で現在のモードを確認してください。



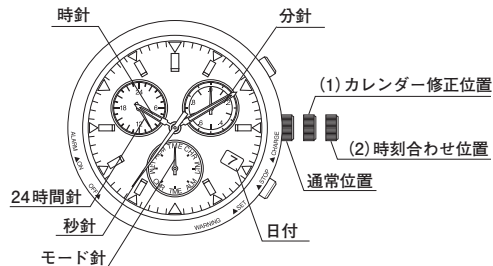
#### 【モード/表示機能】



## 4. 時刻、カレンダーの合わせ方

### 【時刻の合わせ方】

1. りゅうずを回転させてモード針を時刻／カレンダー [TME] モードに合わせます。



2. りゅうずを2段引き(時刻合わせ位置)すると、秒針が0秒位置まで早送りされ停止します。

注意・0秒位置で停止しない場合は、「基準位置修正モード」で基準位置合わせを行ってください。

- ・日付が送られているときにりゅうずを2段引きすると、日付および機能針がその場で停止し、秒針が0秒位置まで早送りされた後、残りの分を送ります。

3. りゅうずをクリック(回転)して時刻合わせをします。

①右に1回クリックすると、24時間針、時針、分針が正転(時計回り)します。

②左に1回クリックすると、24時間針、時針、分針が逆転(反時計回り)します。

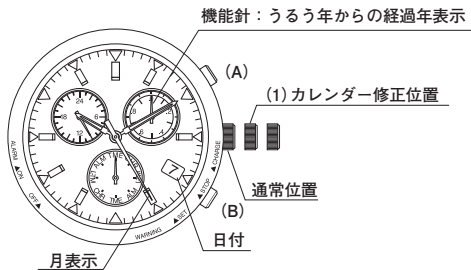
- ・早回転(連続2回以上クリック)すると早送りします。早送りを途中で停止させる場合は、りゅうずを左右どちらか1回クリックしてください。

早送りを途中で停止させないと、12時間動作後、自動的に停止します。

4. 時報(TEL. 117)などに合わせてりゅうずを通常位置にもどしてください。

## 【カレンダーの合わせ方】

カレンダーは一度合わせると、うるう年を含めた年、月、日付が自動的に切り替わるパーペチュアルカレンダーです。



1. りゅうずを回転させて時刻／カレンダー[TME]モードにします。
2. りゅうずを1段引き(カレンダー修正位置)すると、秒針が早送りで記憶している月表示位置、機能針が年表示(うるう年からの経過年)位置に移動し、停止します。  
注意 日付が送られているときにりゅうずを1段引きすると、日付変更後、秒針が早送りされます。
3. りゅうずを左にクリック(回転)して日付を合わせます。
  - ・りゅうずを左に1回クリックすると、機能針が4回転し、日付が1日分修正されます。
  - ・早回転(連続2回以上クリック)すると、連続送りになります。途中で停止させる場合は、りゅうずを左右どちらか1回クリックしてください。途中で停止させないと、31日分送った後、自動的に停止します。

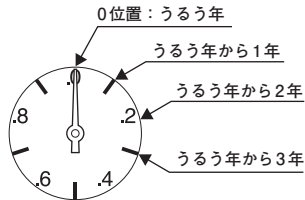
4. (A) ボタンを押すと、年(うるう年からの経過年)が修正できます。  
 (A) ボタンを押して、年(うるう年からの経過年)に対応した位置に機能針を合わせます。

**\*年の見方/機能針の位置\***

うるう年 : 0分位置  
 うるう年から1年目 : 6分位置  
 うるう年から2年目 : 12分位置  
 うるう年から3年目 : 18分位置

うるう年からの経過年早見表

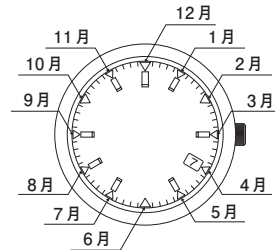
年	経過	年	経過
2008年	うるう年	2012年	うるう年
2009	1年目	2013	1年目
2010	2年目	2014	2年目
2011	3年目	2015	3年目



5. (B) ボタンを押すと月が修正できます。(B) ボタンを押して月に対応した位置に秒針を合わせます。

**\*月の見方/秒針の位置\***

1月 : 1時の位置  
 2月 : 2時の位置  
 3月 : 3時の位置  
 :  
 12月 : 12時の位置



6. カレンダーを合わせた後は、必ずりゅうずを通常位置にもどしてください。秒針が現在の秒に追いつき、運針を開始します。

**<非存日に合わせた場合>**

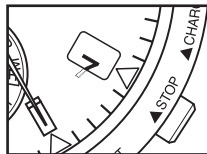
りゅうずをカレンダー修正状態から通常位置にもどすと、自動的に翌月の1日に切り替わります。

例) ・平年 : 2月29日、30日、31日 → 3月1日  
 ・うるう年 : 2月30日、31日 → 3月1日

## 【日付の位置がずれている場合】

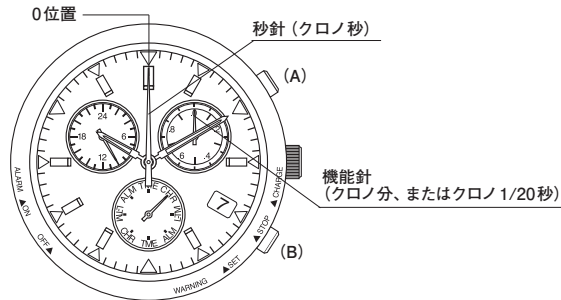
強い衝撃などで日付がカレンダーの窓からずれた場合は、「クロノグラフモード」で、機能針と日付を正しい基準位置に合わせ直してください。

1. りゅうずを通常位置で回転させ、クロノグラフモードにします。
2. りゅうず1段引きにします。
3. (A) ボタンを押すと、機能針と日付が少し動きます。
  - ・日付の「1」がカレンダーの窓の中央にくるまで、(A) ボタンを押してください。
  - ・日付を「1」に合わせた後、機能針が0位置にくるまで、(A) ボタンを数回押してください。
4. りゅうずを通常位置にもどしてください。



## 5. クロノグラフの使い方

クロノグラフ計測は1/20 (0.05) 秒単位で59分59秒95まで計測でき、その後は0秒にリセットされます。



## 【クロノグラフ計測時の針の見方】

りゅうずを回転させて、モード針をクロノグラフ[CHR]に合わせると、秒針、機能針が0位置に早送りされクロノグラフモードになります。

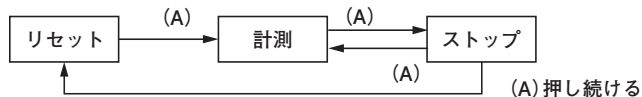
- ・ **秒針** : クロノ秒針に切り替わります。  
0秒スタート時のみ、秒針が早送りで一週し、その後クロノ秒として1秒運針を行います。
- ・ **機能針** : クロノ分またはクロノ1/20秒に切り替わります。  
クロノ分として1分毎に運針します。クロノストップ状態で(B)ボタンを押すと、押している間クロノ1/20秒表示に切り替わります。

**注意** 24時間針、時針、分針、日付:

- ・ 時刻/カレンダーモードから切り替えた場合は、現在時刻を表示し続けます。
- ・ ローカルタイムモードから切り替えた場合は、ローカル時刻を表示し続けます。
- ・ アラームモードから切り替えた場合は、アラームセット時刻を表示し続けます。

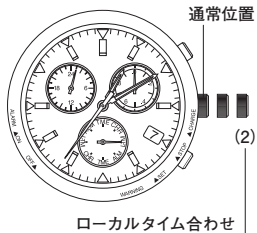
## 【クロノグラフ計測】

1. りゅうずを回転させて、モード針をクロノグラフ[CHR]モードに合わせます。
2. (A)ボタンを押すと、押す毎に確認音が鳴り、スタート、ストップをくり返します。
3. クロノストップ状態で(A)ボタンを押し続けると、クロノ秒針とクロノ分針が0位置にリセットされます。



## 6. ローカルタイムの合わせ方

ローカルタイムは、現在時刻とは別に他の地域の時刻をセットできる機能です。現在時刻(時刻モード/TME)を基準に、1時間単位で時差修正ができます。分、秒針は現在時刻に連動しています。



### 【時差の修正方法】

1. りゅうずを通常位置で回転させてモード針をローカルタイム[L-TM]モードに合わせます。
2. りゅうずを2段引き(ローカルタイム合わせ位置)します。

3. りゅうずを右または左にクリックして、時差を修正します。
  - ・右に回転すると、時針が1時間分正転(時計回り)します。
  - ・左に回転すると、時針が1時間分逆転(反時計回り)します。

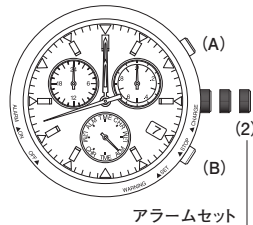
**注意** 2回以上連続クリックしても、早送りはできません。1時間ずつ確実に修正してください。  
なお、時差修正の範囲は、現在時刻を基準に±23時間の範囲です。

4. 修正後は必ずりゅうずを通常位置にもどします。

- 注意**・時針が午前0時を通過すると、運針終了後、日付が1日分修正されます。逆転(反時計回り)で修正し、時針が午前0時を通過すると、運針終了後、日付が修正されますが、正転で30日分送りますので、日修正に約2~3分くらいかかります。時差修正は午前/午後に注意して合わせてください。
- ・時差をもとにもどすときは、修正した反対方向に時針をもどしてください。

## 7. アラームの使い方

アラームは24時間制で、一度セットすると1日1回、セット時刻にアラーム音が15秒間鳴ります。  
アラームが鳴る時刻は、時刻(TME)モードと一致したときで、ローカルタイム(L-TM)に合わせてセットはできません。



### 【アラーム時刻の合わせ方】

1. りゅうずを通常位置で回転させてモード針をアラーム[ALM]モードに合わせます。
  - ・秒針：早送りON、またはOFF位置に移動します。
  - ・24時間針、時針、分針：前にセットしたアラーム時刻に移動します。
  - ・機能針：0位置で停止します。

2. りゅうずを2段引き(アラームセット位置)します。
  - ・アラームセットが自動的にONに切り替わります。
3. りゅうずをクリック(回転)して、アラーム時刻を合わせます。
  - ①右に1回クリックすると、時針、分針が正転(時計回り)します
  - ②左に1回クリックすると、時針、分針が逆転(反時計回り)します。
  - ・早回転(連続2回以上クリック)すると早送りします。早送りを途中で停止させる場合は、りゅうずを左右どちらか1回クリックしてください。早送りを途中で停止させない場合は、12時間動作後に、自動的に停止します。
  - ・24時間針を目安にして、午前/午後をまちがえないようにセットしてください。
4. アラーム時刻セット後は、りゅうずを通常位置にもどしてください。

### 【アラームのON / OFF切り替え】

アラームモードで、りゅうず1段または2段引き状態で (A) ボタンを押すと、押す毎にアラームのON / OFFが切り替わります。

### 【アラーム音モニター】

アラームモードでりゅうず通常位置のとき、(A) ボタンを押すと、押している間アラーム音が鳴ります。

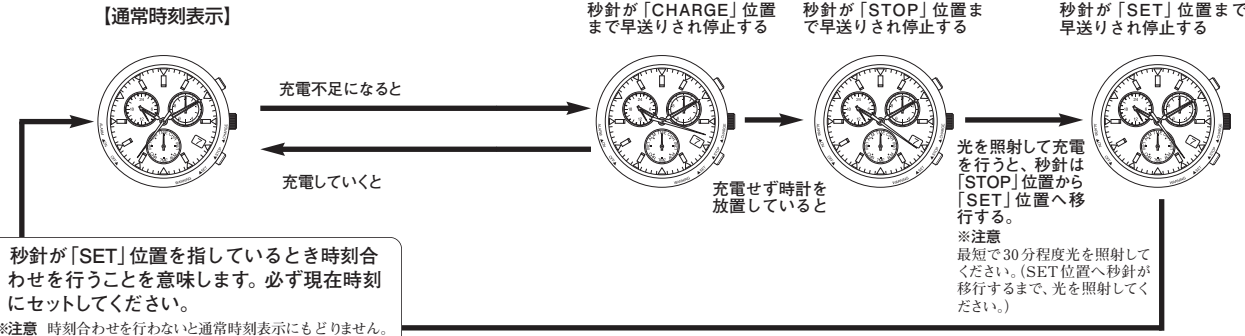
### 【アラーム音の止め方】

鳴っているアラーム音を止める場合は、(A) または (B) ボタンを押してください。

## 8. ソーラーパワーウォッチ特有の機能について

この時計は充電不足になると、秒針が各文字の警告表示に自動的に移動し、「充電警告」および「時刻合わせ告知」をお知らせします。

充電不足にならないように常に充電を心がけてお使いください。



### 【通常時刻表示から充電不足になった場合】

☆充電不足になった場合は早めに充電し、もとの通常運針(通常時刻表示)にもどしてください。

**【充電不足で充電をした後、時刻合わせを忘れたまま放置され、再度充電して時刻合わせをする場合】**

☆充電不足で時計が止まると、十分に充電し時刻合わせを行わないと通常運針（通常時刻表示）にもどりません。

**【充電警告表示】**



**【停止状態】**



光を照射して  
充電してくだ  
さい

**【時刻合わせ告知表示】**



※注意  
必ず時刻を合わせ直してください。

**< 充電警告機能 >**

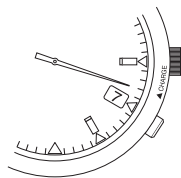
時計がどの表示をしていても、充電不足になると時刻表示に切り替わり、秒針がCHARGE位置に移動して、充電不足であることを知らせます。秒針の運針後24時間針、時針、分針、日付（機能針）の順で時刻表示に切り替わります。このときも時計は正確に動いていますが、約5日（充電警告機能作動時から時刻切り替え運針がある場合、約2日）すると時計は止まってしまう。光を当てて充電し、もとの1秒運針にもどしてください。ただし、充電不足で停止した後、光が当たり充電警告表示になったときは時間がずれているため、十分充電し、時刻合わせを行ってください。

**注意**・クロノグラフは計測中でも計測を中止しリセットされます。

・ローカルタイムはセットした時間（時差）が保持されます。

・アラームはセットされていてもアラーム音は鳴りません。

・りゅうず（モード切り替え）および、ボタン操作は機能しません。



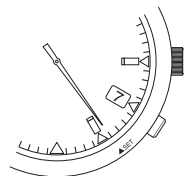
### <時刻合わせ告知機能>

時計が停止した後、再び光を当てて充電していくと、秒針がSET位置に移動し、時刻がずれていることを知らせます。秒針がSET位置に移動した後、24時間針、時針、分針は運針を開始しますが、時刻がずれているため十分に充電した後、時刻およびカレンダーを合わせ直してください。

**注意**・時刻／カレンダー合わせ操作以外のりゅうずおよび、ボタン操作は機能しません。

- ・時刻／カレンダーモードでりゅうずを2段引き(時刻修正状態)すると、時刻合わせ告知機能が解除されます。りゅうずを2段引きし、時刻合わせをしないと、秒針がSET位置に停止したままです。

- ・充電不足で停止した場合、十分光を当てても時刻合わせ告知表示に切り替わるまで、最短で30分かかります。



### <過充電防止機能>

二次電池がフル充電されると、それ以上は充電されないように過充電防止機能が働きます。

### <パワーセーブ機能>

時刻／カレンダーモードまたは、ローカルタイムモードでソーラーセルに光が当たらず発電が行われないと、秒針が0秒位置にきて停止し、消費電流を押さえるパワーセーブ状態になります。

秒針が停止状態でも、24時間針、時針、分針は正しい時刻を刻み続けます。なお、カレンダーは24時間針、時分針に連動して修正されます。

- ・通常運針状態のときは秒針が0秒位置で停止し、発電が始まると秒針が現在の秒まで早送りされ、1秒運針をはじめます。ただし、充電警告状態のときは秒針がCHARGE位置で停止し、時刻合わせ告知状態のときは秒針がSET位置で停止し、停止状態のときは秒針がSTOP位置で停止したままです。

**注意** 二次電池がフル充電され過充電防止機能が働いている間は、ソーラーセルに光が当たらず発電が行われなくても、パワーセーブ機能は作動しません。また、急激な光が当たり、一時的にフル充電になった場合も同様に、パワーセーブ機能は作動しません。

## 9. 各針の基準位置確認と修正

この時計をご使用になる前に、この時計の機能が正しく作動する状態にあることを、次の方法で確認してください。

基準位置とは……この時計が正しく機能するための、基準となる針と日付位置のことです。

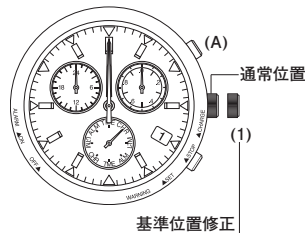
### 【基準位置確認】

1. りゅうずを通常位置で回転させてモード針をクロノグラフ [CHR] モードに合わせます。
2. りゅうずを1段引きにし、基準位置確認(機能針と日付修正モード)にします。24時間針、時針、分針、秒針、および機能針が早送りされ、日付も記憶している基準位置に送られます。

各針と日付の正しい基準位置  
正しい基準位置は次の通りです。

24時間針	: 24時00分
時針、分針	: 00時00分
秒針	: 00秒
機能針	: 0位置(12時位置)
日付	: 1日

各針および日付が上記以外の場合は、「基準位置修正」を行ってください。



## 【基準位置修正】

### <機能針と日付の基準位置修正>

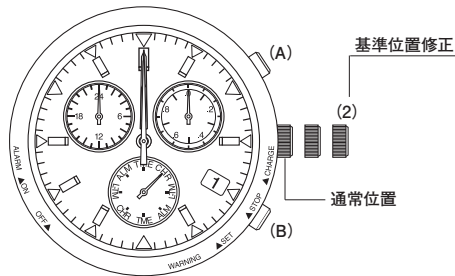
1. クロノグラフ [CHR] モードでりゅうずを1段引きにし、機能針と日付を修正します。
  2. りゅうずを左にクリック (回転) して日付を合わせます。
    - ① 1回クリックすると機能針が4回転し、日付が1日分修正されます。
    - ② 早回転 (連続2回以上クリック) すると、連続送りになります。途中で停止させる場合は、りゅうずを左右どちらか1回クリックしてください。途中で停止させないと、31日分送った後、自動的に停止します。
- ・日付が「1」に変わった直後の12時位置が、機能針の基準位置です。りゅうずを回転させて日付を「31」に修正した後、(A) ボタンを押して細かく機能針を修正させ、日付を1日にしてから、機能針を正しい基準位置に合わせてください。

### <24時間針、時針、分針、秒針の基準位置修正>

1. クロノグラフ [CHR] モードでりゅうずを2段引きにし、各針を修正します。
  2. (A) ボタンを押すと、押す毎に秒針が1秒ずつ修正されます。(A) ボタンを押し続けると早送りされます。
  3. りゅうずをクリックさせると24時間針、時針、分針が修正されますので、正しい基準位置に合わせてください。
    - ① 右に1回クリックすると、時針、分針が正転 (時計回り) します
    - ② 左に1回クリックすると、時針、分針が逆転 (反時計回り) します。
- ・早回転 (連続2回以上クリック) すると早送りします。早送りを途中で停止させる場合は、りゅうずを左右どちらか1回クリックしてください。早送りを途中で停止させないと、12時間分修正後、自動的に停止します。

## 10. オールリセットについて

静電気の影響や強い衝撃などにより、時計が正しく作動しないことがあります。このような場合にはオールリセット後、基準位置合わせを行ってください。



オールリセットを行う際は十分充電し、1秒運針をしていることを確認してから行ってください。

充電不足の状態ではオールリセットを行うと、オールリセット後の操作ができず、時計が止まったままの状態になります。

1. りゅうずを通常位置で回転させて、モード針をクロノグラフ[CHR]モードに合わせます。
2. りゅうずを2段引き(基準位置修正モード)にします。  
・各針および、日付が記憶している基準位置に移動して停止します。
3. (A)、(B)ボタンを同時に押した後、離します。  
・確認音が鳴った後、機能針→24時針、時針、分針→秒針の順でデモンストレーション運針を行い、オールリセットが終わったことを知らせます。

**注意** オールリセット後は、必ず各針の基準位置修正を行った後、各モードを正しく合わせ直してからご使用ください。基準位置修正を行わないと、時計は止まったままで作動しません。

## 11. エコドライブ ご使用上の注意

### 警告 二次電池の取り扱いについて

- ◆お客様は時計から二次電池を絶対に取り出さないでください。  
やむを得ず電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。
- ◆万一、飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談して治療を受けてください。

### 注意 充電上の注意

- ◆高温下(約60℃以上)での充電は避けてください。  
外装部品の変色、変形およびムーブメント部品の故障等の原因となります。
- 例) ・白熱灯、ハロゲンランプ等、高温になりやすい光源に時計を近づけての充電。  
・車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電。






## 12. お取り扱いにあたって

### 警告 防水性能について

- ・日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- ・日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できますが、素潜り(スキンドайビング)などには使用できません。
- ・日常生活用強化防水時計(10/20気圧防水)は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

## 防水性について

- ・りゅうずを引いた状態では、防水性能に関係なく浸水してしまうのでご注意ください。
- ・時計の文字板および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。  
(1barは約1気圧に相当します)
- ・WATER RESIST (ANT) ×× bar は W.R. ×× bar と表示している場合があります。

名称	表示		仕様	使用例									
	文字板または裏蓋												
日常生活用 防水時計	WATER RESIST(ANT)		3気圧防水	水がかかる程度の使用。 (洗顔、雨など)	水仕事や、一般水泳 に使用。	スキューバダイビング、マ リンスポーツに使用。	空気ポンベを使用する スキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態での りゅうずやボタンの 操作。	○	×	×	×	×
日常生活用 強化防水時計	WATER RESIST(ANT) 5 bar		5気圧防水	○	○	×	×	×	×				
日常生活用 強化防水時計	WATER RESIST(ANT) 10/20 bar		10気圧防水 20気圧防水	○	○	○	×	×	×				

## 注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態(通常位置)でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうずやボタンの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。水の中で使うことが多い日常生活用強化防水時計の場合は脱色、接着はがれなどの不具合を起こすことがありますので、あらかじめ他の材質のバンド(金属製またはゴム製)にお取り替えの上、ご使用ください。
- 日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸したときや多量の汗をかいた後は、真水でよく洗い、よく拭き取ってください。
- 万一、時計内部に水が入ったり、ガラス内面にクモリが発生し長時間消えないときはそのまま放置せず、お買い上げ店または、最寄りの弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、ボタンなど)が外れる危険があります。

## 注意 携帯時の注意

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど充分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、充分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ウレタンバンドは、衣類などの染料や汚れが付着し、除去できなくなる場合があります。色落ちするもの(衣類、バッグなど)と一緒に使用する場合はご注意ください。

## 注意 バンドのお取り扱いについて(着脱時の注意)

- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

## **注意** 時計は常に清潔に

- ケースとりゅうずの間にゴミや汚れが付着したまま放置しておく、りゅうずが引き出しにくくなる場合があります。時々、りゅうずを通常位置のままで空回りさせてください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じることがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐに医師に相談してください。  
かぶれの原因は
  1. 金属、皮革アレルギー
  2. 時計本体およびバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗などです。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。

## <時計のお手入れ方法>

- ケース、ガラスの汚れや汗などの水分は柔らかい布で拭き取ってください。
- 皮革バンドは乾いた布で、汚れを取ってください。
- 金属バンド／プラスチックバンド／ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
- 溶剤類(シンナー、ベンジンなど)の使用は、変質の恐れがありますのでお避けください。

## <文字板や針が光っている場合(ナチュライト)>

- この時計の文字板や針には、放射線物質などの有害物質を一切含まない人体や環境に安全な物質を使用した塗料「ナチュライト」が使用されています。ナチュライトは、太陽光や室内照明などの光を蓄え、暗い所で発光します。
- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過と共に少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。
  - 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間などによって発光する時間に誤差が生じます。
  - 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

### <温度について>

- $-10^{\circ}\text{C}$ ～ $+60^{\circ}\text{C}$ の温度範囲外では機能が低下したり、停止することがあります。製品仕様範囲外でのご使用はお避けください。

### <磁気について>

- アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部分、電磁調理器などに近づけないでください。

### <静電気について>

- クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

### <ショックについて>

- 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。

### <化学薬品・ガス・水銀について>

- 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジンなどの各種溶剤およびそれらを含むもの(ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤など)が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れなどを起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンドなどが変色することがありますのでご注意ください。

### <保管について>

- 長期間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。
- 時計を長期間ご使用にならない場合、できるだけ光が当たる場所で保管することをおすすめします。

## 13. 保証とアフターサービスについて

### 1. 保証について

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

### 2. 修理用部品の保有期間について

当社は、時計の機能を維持するための修理用部品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・ボタン・バンドなどの外装部品については、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

### 3. 修理可能期間について

当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

### 4. ご転居・ご贈答品の場合

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

### 5. 定期点検(有償)について

安全に永くご使用いただくために、2～3年に一度点検(有償)を行ってください。防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやバネ棒などの交換を行ってください。部品交換の際は、純正部品とご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検または修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店または最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

### 6. その他お問い合わせについて

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または、最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

## 14. 製品仕様

- ・機種：E81\*
- ・型式：アナログソーラーパワーウォッチ
- ・時間精度：平均月差±15秒  
常温（+5℃～35℃）携帯時
- ・作動温度範囲：  
時計の作動温度範囲：-10℃～+60℃  
パワーセーブ機能作動温度範囲：-10℃～+35℃  
時刻修正作動温度範囲：-5℃～+60℃
- ・表示機能  
時刻：24時間、時、分、秒  
カレンダー：パーペチュアルカレンダー  
日付表示(連続送り機能付き)  
秒針による月表示  
機能針による年表示(うるう年からの経過年)

- ・付加機能：パワーセーブ機能  
充電警告機能  
時刻合わせ告知機能  
過充電防止機能  
クロノグラフ(60分計、1/20秒単位)  
ローカルタイム(時差修正：1時間単位)  
アラーム(24時間制、アラームモニター、アラームON/OFF)
- ・持続時間：フル充電～停止：約9カ月(パワーセーブ機能作動時)  
充電警告機能が作動してから停止まで：約5日  
(充電警告機能作動時から時刻切り替え運針がある場合：約2日)
- ・使用電池：二次電池

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。